

年末年始は誘惑にご用心

3年生は受検がありますが、1・2年生のみなさんにとっては4次考査も終わり、あとは冬休みを待つだけ…という時期になりました。毎日の課題や部活動もありますが、それでも何となくのんびりした気分になっていると思います。年末年始は、クリスマスやお正月など、世の中全体も浮かれた感じになります。もしかすると、みなさんの周りにも様々な“魔の手”が待ちかまえているかもしれません。十分注意してください。

さて、ある中学校で、次のような事件がおこったそうです。

遠足に出かけていったのですが、その帰り道でリンゴ畑に入り込み、一つ残らずリンゴをもぎとって、盗んできたという事件がありました。駅に集まったところを見つかり、警察ざたとなって、大騒ぎになりました。

翌日の新聞にも大きく報道され、校長先生の責任問題にまで発展したということでした。

事実は、リンゴ畑のある山に沿って、長くのびた遠足の列が歩いていたのですが、真ん中へんが途切れて、先に行った先頭の方がどちらに曲がったのかわからなくなってしまったのだそうです。先生も、なぜか先頭の半分に固まっていたようです。そこで、どちらに行けばいいか迷った生徒が、先頭に向かって「おお〜い」と大声で叫ぶと、リンゴ畑のある山をぐるっとまわった向こうの方から、「こっちだよ」と返事がありました。遅れた生徒たち何人かがリンゴ畑の木の下をくぐり抜けて近道をしようとしてしました。さらに、遅れた全員がそれに続いてリンゴ畑に入りました。すると、低い木のリンゴが、いかにも「とってごらんさい」とでも言っているかのようにあったのでした。誰かが何の気もなく一つをもぎとりました。初めはいたずら半分だったのですが、「いけないよ」と友達が声をかけると「なんだ、一つぐらいいいじゃないか。こんなになってるんだもの、誰にも見つからないさ」と言うのです。「そうだな。一つぐらいなら大丈夫だろう」と別の友達も言い、注意した生徒もリンゴに手をのばします。一人が一つずつでも、百人なら百個になります。一つとると、それで満足できなくなって、ワァッと群集心理（グンシュウシンリ：反省力を失って感情的になり、他人の言動にむやみに同調する状態になること）もともなって、今度は我先にとりはじめました。たちまち、リンゴの木の実はなくなり、まるはだかのようになってしまうしました。

リンゴ畑に入った生徒は、ポケットやリュックサックをふくらませ、「どんなもんだい」と意気ようよくと駅までやってきたところをつかまったというわけでした。

いかにも取ってくださいとばかりに、木にリンゴがなっていようと、それを取れば泥棒です。親戚や家の人に面白半分にすすめられようと、飲酒してしまえば法令違反です。周りでみんながやっているからといって、万引きをすればそれも窃盗（セツウ：他人の物をそとと盗むこと）という犯罪になります。タバコを吸うことも深夜に外を出歩くことも、中学生のみなさんには認められていません。みなさんがそういうことをやるとは思っていませんが、どこに誘惑の“魔の手”が待っているかもしれません。「自分はそんなことは絶対にしない」という強い気持ちを常に心の中において生活してください。

【今日のひとり言】

●先日、法霊神楽の保存会の方が6名みえられ、権現舞などを3年生に披露してくれました。また、身固めや掛幕のお祓いもしてくれました。6名の中には、〃〃〃のお母さんのほか、松本徹さんと西館義博さんという小中野中の卒業生の方も二人いらっしゃいました。また「おかづら」というお守りもいただいたのですが、それ以来私にとって幸運なことが2つ続きました。そのお守りがよかったのか、〃〃〃の獅子頭に頭をかんでもらったのがよかったのかはわかりませんが、ありがたかったです。この幸運が、3年生のみなさんの進路実現にもつなげれば…と願っています。

●大変恥ずかしい話ではありますが、この学校だよりは旧式のワープロで作っています。そのワープロが故障してしまいました。印刷がうまくいかなかったのです。今日の学校だよりも、途中でスジが入った感じで見にくいと思います。代わりの物が準備できるまで、学校だよりを休むこととなります。申し訳ありませんが、しばらくの期間（もしかすると、3学期まで）休むかもしれませんが、ご理解をいただけるとありがたいです。

●今日の私の似顔絵は、バレーボール部2年の〃〃〃に描いてもらいました。かなり真面目そうな感じに描いてくれました。〃〃〃は、私の本当の姿を見抜いているのかもしれない。